

エコアクション21

環境経営レポート

(No.18)

(2021.6 ~ 2022.5)

2022年6月



ジビル調査設計株式会社

www.zivil.co.jp



環境経営
エコアクション21
認証番号 0000644

目 次

	PAGE
○ 組織の概要	1
○ 組織図	2
○ 環境経営方針	3
○ 環境経営目標と環境経営計画	4
○ 環境経営目標値と実績値	5
○ 環境目標の実績	6
○ 環境経営目標と環境経営計画の取組結果と評価	8
○ 代表者の見直しと今後の目標	10
○ 環境関連法規・条例その他への違反、訴訟等の有無	11

組織の概要

事業所名および代表者氏名

ジビル調査設計株式会社
代表取締役 毛利 茂則

所在地

本 社 〒910-0001 福井県福井市大願寺2丁目5番18号

※エコアクション21 認証登録の範囲は本社です。

環境管理責任者氏名および担当者連絡先

山本 由紀 E-mail : yamamoto@zivil.co.jp
伊藤 和恵 E-mail : ito@zivil.co.jp
笹岡 美千恵 E-mail : sasaoka@zivil.co.jp

事業内容

- ▼ 計画・保全設計
道路、橋梁、トンネル、法面、構造物等、水理解析、河川・砂防、河川・砂防構造物等、港湾、上下水道、消雪、電線地中化等
- ▼ 調査解析
測量全般、土地調査、土質・地質調査、物理探査各種試験・解析、土壌汚染対策指定調査、各種構造物調査（橋梁点検等）、建物外壁診断
- ▼ システム設計
地理情報（GIS）、空間情報（GPS）等

事業所の規模

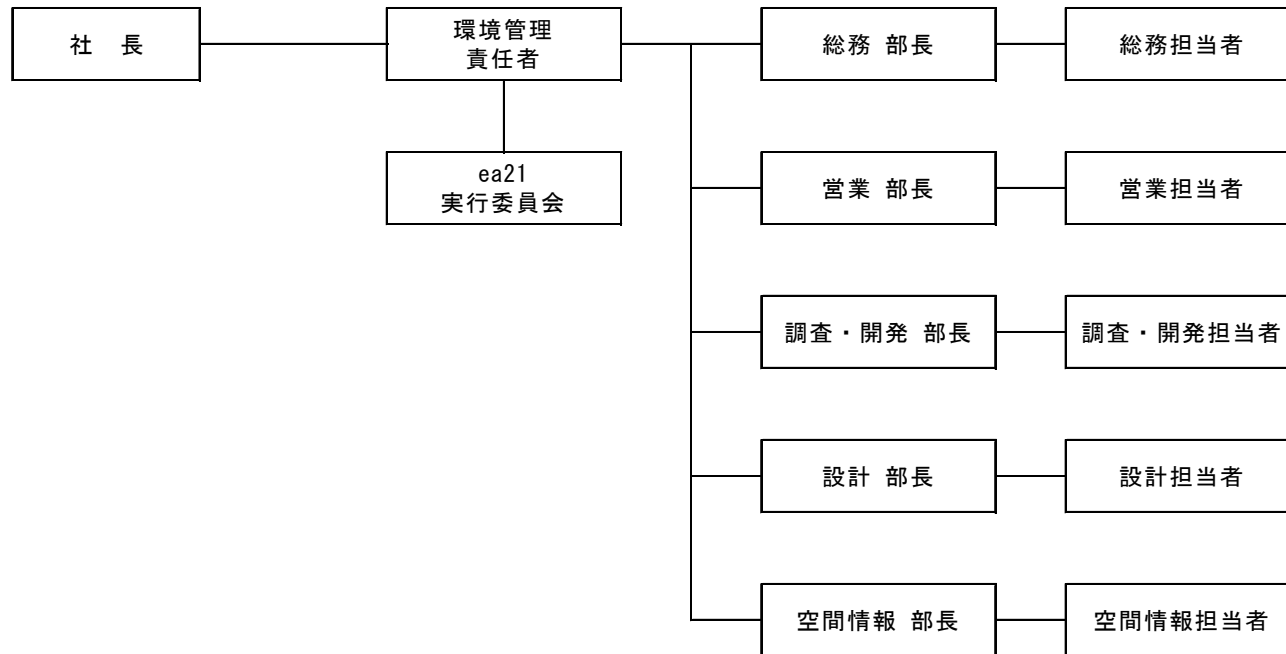
- ▼ 延べ床面積 : 728.3 m² (鉄骨4階構造)
- ▼ 総従業員数 : 56人 (内、正社員49人 パート社員7人) ※ 2022年5月現在

当社における環境活動は2005年7月より開始しました。2022年6月にとりまとめる本レポートは「環境活動レポート No.18」として、2021年6月から2022年5月までの1年間の取組とその結果について報告します。

取組の成果を把握するために、各数値は前年度の値も合わせて示すものとします。それぞれの図、表に表す前年度および今年度の期間は以下のとおりとします。

前年度：2020年6月～2021年5月
今年度：2021年6月～2022年5月

組織図



項目	代表者	環境管理責任者	部長	環境管理担当者	全社員
環境方針の策定	◎				
環境目標の策定		◎	○		
環境活動計画の策定		◎	○	○	
環境への取組み					◎
取組み状況の確認・評価		◎	○	○	
全体の評価と見直し	◎				
環境活動レポートの作成		◎			
各段階における承認	◎				

環境経営方針

環境経営方針

当社は、土木・建築サービス業務として社会基盤の形成および保全に寄与する中で、地球環境保全への取り組み、循環型社会の実現が現在および未来への最重要課題であることを常に認識し、全社員一丸となり以下の活動を実施します。

1. 現状における環境への負荷を把握・分析し、重点課題を認識します。
2. 重点課題解決の一方法として、事業活動により発生する紙資源、水資源、二酸化炭素等の管理の適正化に努め、環境負荷の低減を目指します。
(例として、月2回のノーマイカーデーの継続と共にコロナ禍で生まれた在宅勤務及びWeb会議等によって発生する環境負荷低減効果に着目した事業活動推進)
3. 社会基盤の形成・保全に寄与する中で、顧客への環境に配慮した材料・工法の提案に努めます。
(例として、橋梁点検ロボットの活用推進等)
4. 環境関連法令、条例、その他規則を常に確認し遵守します。
5. 上記各項の取り組みを継続的に見直し、改善活動を推進します。
6. 全社員の環境活動に関する教育、啓発に努め、日常可能な環境活動を社外においてもより多く実践できる人材育成を推進します。

令和2年6月30日

ジビル調査設計株式会社

代表取締役 毛利茂則

環境経営目標と環境経営計画

項目	環境経営目標 短期(1年)		環境経営目標 長期(5年)					環境経営計画
			【2019年】	【2020年】	【2021年】	【2022年】	【2023年】	
■CO2排出量の削減	在宅勤務定着による、打合せ時のWeb会議の推奨		長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「電力削減手順書」「燃料削減手順書」を作成し維持活動とする					<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み時間は消灯する(12:25~13:00) ・帰宅時には不要な照明は無いか確認する ・人のいない所はエアコンオフとする ・パソコン画面はオートスリープ機能を使って未使用5分程度で画面オフとする ・業務打合せ・確認時には、WEB会議システムを上手く利用する ・離席時や残業時に不要な照明の消灯をする ・エアコンの設定温度は、居住場所に設置した温度計で管理し、クールビズ、ウォームビズを適用する ・コピー機等は省エネモードとする ・エコドライブを心掛ける ・残業時間の短縮
■廃棄物排出量の削減	総物資(紙類)投入量の削減に努める		長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「一般廃棄物削減手順書」を作成し維持活動とする					<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン画面上での印刷プレビューを活用し印刷ミスを減少させる ・非成果書類等はNアップ出力、裏紙の活用、両面コピーとし用紙の節約を図る ・利用可能なもの(梱包材等)は再利用する ・ごみの分別を徹底し、リサイクルすることによって廃棄物を少なくする
■水使用量の削減	水使用量の削減に努める		長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「水使用量削減手順書」を作成し維持活動とする					<ul style="list-style-type: none"> ・節水を心掛け、無駄遣いをしない ・水道使用量の確認をして漏水の有無を判断する
■自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	総務・営業部	目的を持って客先を訪問する	各部署において1年毎に見直すこととする					・部署間内の情報を共有し、訪問や電話・メール対応などのメリハリをつける
	調査部	環境にやさしい『橋梁点検支援ロボット視る・診る』の年間稼働日数100日	"					・効率的な利用を検討し、点検支援ロボットの提案を行う
	設計部	月1回のノーマル残業デーを実施する	"					・全体の業務量や進捗状況を確認し、効率的に業務を進める
	企画開発室	ユーザーの作業環境改善につながる「これを使ってみたい!」と感じてもらえる製品開発を行う	"					・幅広く情報収集を行い、製品開発に反映していく

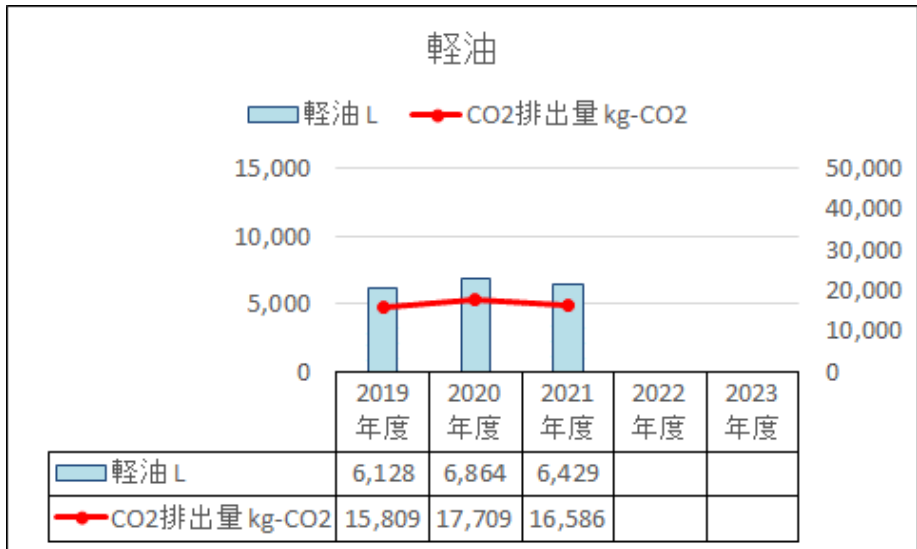
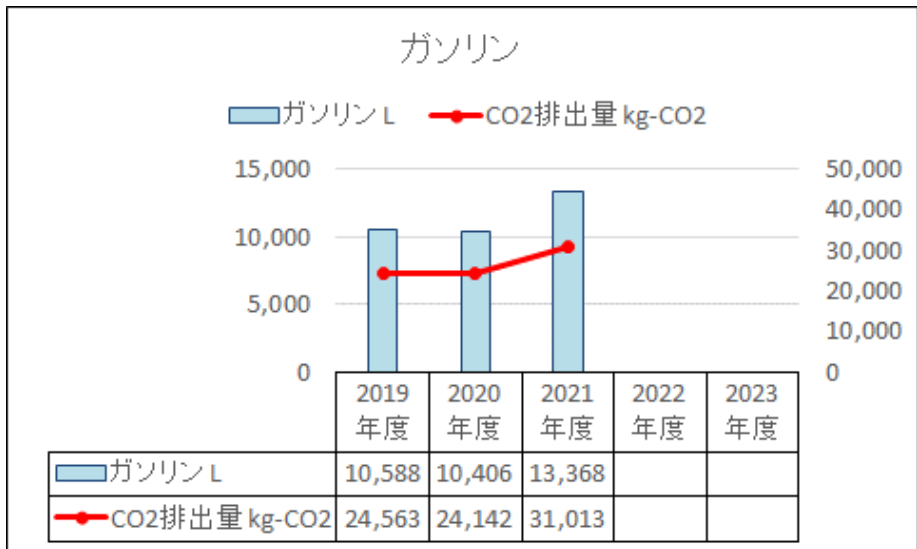
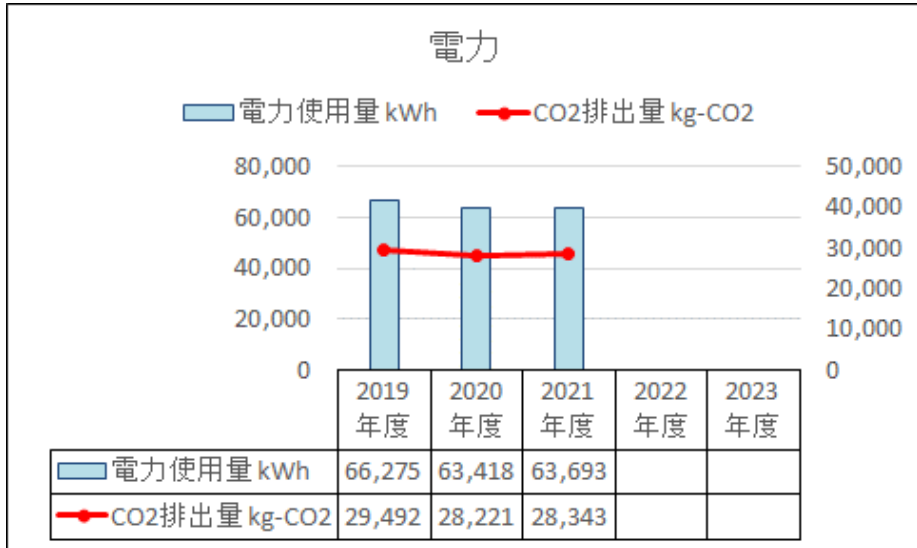
環境経営目標値と実績値

環境経営目標項目		目標値					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年	「CO2排出量/売上1万円当り」			前年比0.5%削減	
項目	単位	実績値					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2排出量/売上1万円当り	kg-CO2	1.38	1.19	1.21			
	前年比	-	86.2%	101.7%			
CO2排出量	kg-CO2	70,079	70,109	75,980			
	前年比	-	100.0%	108.4%			
電力使用量	kWh	66,275	63,418	63,693			
	前年比	-	95.7%	100.4%			
燃料	ガソリン	L	10,588	10,406	13,368		
	軽油	L	6,128	6,864	6,429		
	合計L	16,715	17,270	19,797			
	前年比	-	103.3%	114.6%			
液化石油ガス(LPG)	kg	71	12	13			
	前年比	-	16.9%	108.3%			
一般廃棄物排出量	kg	235	67	114			
	前年比	-	28.5%	170.1%			
水使用量	m3	644	332	335			
	前年比	常に節水に努める					

※ 電力使用量の二酸化炭素の排出係数は、0.445kg-CO2/kWh(R1年度実績値)を使用
(2019年度以降)

※ 水使用量については、維持管理項目とする

環境目標の実績



環境目標の実績



- ・全体 CO2 排出量は、前年比 108.4%となり、増加しました。
「売上 1 万円当りの CO2 排出量」は、1.21(kg-CO2)で、前年比 101.7%となり、目標としている「前年比 0.5%減」をクリアできませんでした。
- ・その要因としては、県外の現場が多かったことでガソリン使用量が多くなり、増加となりました。
全体 CO2 排出量割合 = ①ガソリン : ②電気 : ③軽油 = ①4.1 : ②3.7 : ③2.2
- ・廃棄物排出量については、大規模な社内レイアウトの変更等を行ったため、排出量が増加しました。
- ・水使用量については、在宅勤務定着により事務所内における使用量はほぼ横ばいとなっています。
- ・全体的に、社内におけるエコ意識は継続できているため、今後も意識の持続を行い、活動を継続していきます。
- ・また、「売上 1 万円当りの CO2 排出量」を 2019 年度のデータを指標として、「前年比 0.5%減」を目指していきます。

環境経営目標と環境経営計画の取組結果と評価

項目	環境経営目標 短期(1年)		達成状況	環境経営計画	評価	
■CO2排出量の削減	在宅勤務定着による、打合せ時のWeb会議の推奨		前年度から6.9%の削減となった ただ、今年度の大幅な削減理由としては、「電力の排出係数」の見直しが大きなる理由となっている (電力排出係数 2020年度:0.627 →2021年度:0.445(R1)) また、在宅勤務でのメリット・デメリットが顕著化し、業務内容に合わせた勤務体制を柔軟に選べるシステムとなっている そのため、在宅勤務率はやや減少したが、今年度以降も20%台を維持しつつ、Web会議の適時適切な使用を行っていく	○	・昼休み時間は消灯する(12:25~13:00)	○
					・帰宅時には不要な照明は無い確認する	○
					・人のいない所はエアコンオフとする	○
					・パソコン画面はオートスリープ機能を使って未使用5分程度で画面オフとする	○
					・業務打合せ・確認時には、WEB会議システムを上手く利用する	○
					・離席時や残業時に不要な照明の消灯をする	○
					・エアコンの設定温度は、居住場所に設置した温度計で管理し、クールビズ、ウォームビズを適用する	○
					・コピー機等は省エネモードとする	○
					・エコドライブを心掛ける	○
					・残業時間の短縮	△
■廃棄物排出量の削減	総物資(紙類)投入量の削減に努める		ごみの分別を徹底し、リサイクルによって廃棄物は少なくなっている 今年度は、大規模な社内レイアウトの変更等を行ったため、排出量が増加した	△	・パソコン画面上での印刷プレビューを活用し印刷枚数を減少させる	○
					・非成果書類等はNアップ出力、裏紙の活用、両面コピーとし用紙の節約を図る	○
■水使用量の削減	水使用量の削減に努める		在宅勤務が定着したため、ほぼ横ばいの数値となった	△	・利用可能なもの(梱包材等)は再利用する	○
					・ごみの分別を徹底し、リサイクルすることによって廃棄物を少なくする	○
■自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	総務・営業部	目的を持って客先を訪問する	用件のある客先訪問ができ、定期訪問が確実に減少した	○	・部署間内での情報を共有し、対面とオンラインのメリハリをつける	○
	調査部	環境にやさしい『橋梁点検支援ロボット視る・診る』の年間稼働日数100日	稼働日数は、「100日」となり目標達成となった	○	・効率的な利用を検討し、点検支援ロボットの提案を行う	○
	設計部	月1回のノー残業デーを実施する	毎月最終金曜日に実施	○	・全体の業務量や進捗状況を確認し、効率的な業務を進める	○
	企画開発室	ユーザーの作業環境改善につながる「これを使ってみよう」と感じてもらえる製品開発を行う	小規模橋梁での桁下狭隙空間における作業改善としてマルチカメラシステムを開発し年間実績として25個所の現場を使用した	○	・幅広く情報収集を行い、製品開発に反映していく	○

環境経営目標と環境経営計画の取組結果と評価



2021年度

単位(時間)

		合計		月平均	
全体 残業時間	昨年	9,546	(増減)	795.5	(増減)
	今年	9,772	226	814.3	18.8
単位(1人) 残業時間	昨年	225	(増減)	18.8	(増減)
	今年	222	-3	18.5	-0.3

全体残業時間は昨年度よりも増加していますが、一人当たり残業時間は短縮となりました。

残業時間については業務量(災害対応など)によって変動しますが、今後も時間短縮を心がけていきます。

※2019年度：2020年5月の1か月分のみ

2020年度以降は、12ヶ月分の集計数値

※福井県においては2020年4月14日に福井県緊急事態宣言が発出され、当社においても2020年5月より在宅勤務推奨を行いました。

在宅勤務推奨による社員の通勤が減少し、自動車通勤におけるCO2の排出が抑止されました。これからも、通勤時のCO2排出量の推移を把握していきエコへの認識を高めていきます。

ただ、業務内容に合わせての在宅 or 出社勤務の形態となるため、在宅率は20%台維持を目標に押し進めます。

代表者の見直しと今後の目標

代表者の見直し

2022年5月31日

代表者による 評価と見直し・指示	環境経営方針について	■ 方針維持	□ 要改善
	<p>昨年度に引き続き、コロナ感染拡大阻止対応策としての在宅勤務を継続させた結果、ほぼ昨年同様の結果となりコロナ禍の中での環境負荷低減活動も安定傾向にある。しかし、コロナ感染拡大収束後に経済活動の復活に伴う環境負荷のリバウンドへの意識が重要であると共に現方針を維持しつつも何らかの対応が必要。よって2022年の傾向を見て早めの対策が必要と思われる。</p>		
	環境経営目標および環境経営計画について	■ 活動維持	□ 要改善
	<p>日常業務の進捗、出来高とその成果品の品質などが低下しない範囲で在宅勤務、Webの活用を継続させて、環境負荷低減効果を維持させる。</p>		
	実施体制の評価	■ 活動維持	□ 要改善
<p>昨年度の体制を継続させる中で、更なる課題の抽出とこれに取り組む姿勢を全社員が共有することで環境意識も向上すると思われる。 昨今、日本を含む世界中の企業に、「SDGs」の目標達成に向けた取り組みが強く求められています。エコアクション21はその「SDGs」の13番目の目標に掲げられている「気候変動に具体的な対策を」のCO₂の排出量削減活動がそのまま適合されます。 よって当社の活動とSDGsとの関係を今一度広く社員やその家族に周知すると共に可能であれば「SDGs」に掲げるその他の持続可能な16の目標を本システムに落とすことが可能か否かの検討を期待するところです。（例：近年の断捨離ブームを意識して、社員、家族の古着の再利用と「SDGs」を通した社会貢献（第1目標の「貧困をなくそう」）の一助に）</p>			

2022年 環境目標

項目	環境経営目標 短期(1年)	環境経営目標 長期(5年)					環境経営計画
		【2019年】	【2020年】	【2021年】	【2022年】	【2023年】	
■CO2排出量の削減	打合せ時のWeb会議の推奨 ・県内・県外の顧客を問わず、Webによる打合せの提案	長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「電力削減手順書」「燃料削減手順書」を作成し維持活動とする					・昼休み時間は消灯する(12:25~13:00) ・帰宅時には不要な照明は無いか確認する ・人のいない所はエアコンオフとする ・パソコン画面はオートスリープ機能を使って未使用5分程度で画面オフとする ・業務打合せ・確認時には、WEB会議システムを上手く利用する ・離席時や残業時に不要な照明の消灯をする ・エアコンの設定温度は、居住場所に設置した温度計で管理し、クールビズ、ウォームビズを適用する ・コピー機等は省エネモードとする ・エコドライブを心掛ける ・残業時間の短縮
■廃棄物排出量の削減	社員各々のゴミ分別意識を高め、排出量の削減に努める	長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「一般廃棄物削減手順書」を作成し維持活動とする					・パソコン画面上での印刷プレビューを活用し印刷ミスを減少させる ・非成果書類等はNアップ出力、裏紙の活用、両面コピーとし用紙の節約を図る ・利用可能なもの(梱包材等)は再利用する ・ごみの分別を徹底し、リサイクルすることによって廃棄物を少なくする
■水使用量の削減	水使用量の削減に努める	長期間の削減活動結果よりこれ以上の削減が見込めないため「水使用量削減手順書」を作成し維持活動とする					・節水を心掛け、無駄遣いをしない ・水道使用量の確認をして漏水の有無を判断する
■自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	総務・営業部 目的・要件を持って客先に面会の約束をし行動する	各部署において1年毎に見直すこととする					・可能な限り、オンラインやメール等を活用し時間を有効に使う
	調査部 環境にやさしい『橋梁点検支援ロボット視る・診る』の年間稼働日数100日	"					・効率的な利用を検討し、点検支援ロボットの提案を行う
	設計部 月1回のノー残業デーを実施する	"					・全体の業務量や進捗状況を確認し、効率的な業務を進める
	企画開発室 データベースシステムを開発し調書管理の効率化を図るとともにペーパーレス化が推進できる開発を目指す。	"					・情報提供や技術提案を行う

環境関連法規・条例その他への違反、訴訟等の有無

違反については、過去3年の間、表に示すように関連機関からの指摘も無く、問合せもありませんでした。同様に訴訟等もありませんでした。

また、当社における遵守状況においても違反はありませんでした。

環境関連法規・条例その他への違反、訴訟等の有無確認表

名 称	違反、訴訟等の有無	確認年月
環境基本法	無し	2022. 6
下水道法	無し	2022. 6
廃棄物処理法	無し	2022. 6
自動車リサイクル法	無し	2022. 6
家電リサイクル法	無し	2022. 6
消防法	無し	2022. 6
福井県環境基本条例	無し	2022. 6
福井市環境基本条例	無し	2022. 6
福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	無し	2022. 6
福井県公共事業環境配慮ガイドライン	無し	2022. 6
共通仕様書	無し	2022. 6
福井県庁グリーン購入推進方針	無し	2022. 6
フロン排出抑制法 (令和2年4月1日改正)	無し	2022. 6